



## 派遣留学報告書

	記入日 2019年 1月 7日
氏名	長尾幸祐
所属学部・研究科	生物生産学部 3 年次 (留学開始時点)
学生番号	B160754
留学先大学	カセサート 大学 (国名: タイ )
所属学部・学科等名	農学部
在籍身分	交換留学生
留学期間	2018年8月4日 ~ 2018年12月27日

## 1. 留学するまで

留学しようと思ったきっかけ・理由	昨夏にタイへの短期留学を経験し、もっとタイで学びたいと思ったから。異環境での農業について学び、自身の研究に役立てたいと思ったから。また、講義や他国の人とのコミュニケーションを通じて英語力を向上させたいと思ったから。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	応募の一週間前から、必要書類などの準備をはじめた。
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	日常生活で使えるタイ語を覚えていたらよかった。ルームメイトが外国人であったため、日本のお土産を用意しておいたらよかった。

## 2. 渡航について

ビザについて	ビザの種類: 教育ビザ
	ビザ申請先: タイ王国大阪領事館
	提出書類: ビザ申請用紙、パスポート、証明写真、広島大学在学証明書
	手続きに要した日数: 2日 (支援室の方に代理で取得していただいた。)
その他必要な事前手続き	カセサート大学への申請書類の提出
出国年月日	2018年 8月 4日
経路 (往路)	広島国際空港 → 羽田国際空港 → バンコク・スワンナプーム国際空港
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者 ・ その他) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	生活用品等の買い出し、履修登録について、Wi-Fiの設定



帰国年月日	2018年 12月 27日
経路（復路）	バンコク・スワンナプーム国際空港→羽田国際空港→広島国際空港

### 3. 留学費用について

支出額	総額	450,000	円	
	内訳	渡航費（航空券）	0	円（広島大学負担）
		保険料	50,000	円
		教科書代（学費）	0	円
		宿舍費	51,000	円
		光熱費	5,100	円
		食費	100,000	円
		交通費（宿舍－大学間）	400	円
		交際費	220,000	円
その他（予防接種費）	30,000	円		
（費）		円		
（費）		円		

### 4. 授業について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	Introduction to tropical agriculture, Food sanitation, Paradigm in agriculture extension, selected topics in tropical agriculture の4科目を履修した。グループワークや発表が多かった。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	英語での講義のため、こまめに復習をすることをおすすめする。 テストについて講義中に話すことがあるので、しっかり聞いておいた方がよい。 他国の学生に分からないところは聞くとよい。

### 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居の広さ	約 30㎡	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（1人） <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他（ ）		
住居費	1ヶ月当たり	3000バーツ(現地通貨)	約 10,000 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	外国人とのルームシェアをする場合は、あらかじめルールをしっかりと作るとよい。		
(2) 医療について			



留学先でかかった病気、 けが	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合、具体的な症状 等（情報共有しても差し 支えなければ）	
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合、その種類、回 数、費用、受けた医療機 関名	破傷風：2回 B型肝炎：3回 日本脳炎：1回
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：
留学先国の医療事情 （日本と比較して）	医療機関を利用していないため、よくわからない。
留学先での健康管理、衛 生面について特に注意 すべきこと	よくわからないところでの食事は控えた方がよい。 寮付近にある屋台は、積極的に利用するとよいと思う。
(3) 食生活についてのアドバイス	
大学内にある食堂、寮の近くにあるフードコート（too fast to sleep）や寮周辺の屋台で食事をおすすめする。一食40 パーツ程度で安く済ませることができる。しかし、留学後半になると飽きてくるため、amonphan（通りの名前）など に行けば、いろいろな店がありよい。	
(4) 服装についてのアドバイス	
基本的には、日本での夏の恰好で過ごせばよいと思う。電車やバス等を利用するときは羽織るものがあれば、調節ができ とよい。	
(5) 学内外の施設・設備環境について（インターネット環境含む）	
インターネット環境は基本的に整っており、寮・大学ともにWi-Fiを利用できる。 大学にはプールやバスケットコートなどあり、運動する場合はそこを利用するとよい。ただし、プールは使用料がかかる。 （それほど高くない）	
(6) 現地学生や地域との交流について（どのような、機会・きっかけがありましたか？）	
ルームメイトがインドネシア人であったため、英語でのコミュニケーションを行うことができた。また、寮の1階にはフ リースペースがあり、多くの学生が集まるので友だちを作ることが出来る。	
(7) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
インドネシア人の中にはムスリムの人がいるため、禁忌に触れないように注意する必要がある。人によって自由度が違う ので、コミュニケーションを通じて、何がいけないか確認するとよい。	
(8) 日本から持っていくべきもの、持っていくべきでないもの	



基本的にタイで安くそろえることができるので、日用品は持っていく必要はない。空いた時間が結構できるので、娯楽のための道具を持っていくといいと思う。

(9) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス

## 6. 帰国後の進路について

卒業予定年月	2020年 3月 (当初の卒業予定年月 2020年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	広島大学生物圏科学研究科への進学
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	卒業のための単位取得状況を確認しておくことよ。

## 7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等

書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

## 8. 留学を振り返って

留学を終えての感想：

今回の留学は、とても有意義な経験であった。他大学の日本人はもちろん、国を超えてさまざまな人と交流をもてたことは、すごく刺激になった。慣れない環境に長期間身を置くことは、不安ではあるが、挑戦して本当によかった。

後輩へのメッセージ：

慣れないことに挑戦することは、不安で怖いものだと思うが、ぜひ経験してほしい。いろいろな面で成長することが出来ると思う。勉強だけでなく、旅行や異国間交流など多くのものを得ることが出来ると思う。



## 9. 自由記述 (1200 字以上)

- ・「学習に関すること」や「生活に関すること」について自由に書いてください。
- ・写真を2~3枚貼り付けてください。(各写真の容量を100KB程度まで小さくすること)

### ○学習について

私は Introduction to tropical agriculture, Food sanitation, Paradigm in Agricultural Extension, Selected topics in tropical agriculture の4科目を履修しました。1科目3時間の講義で、途中で15分程度の休憩があります。どの講義も英語で行われるためかなりきつかったです。Introduction to tropical agriculture は、熱帯地方の農林水産業について学ぶことができます。日本と環境が異なる中で、どのように農林水産業が行われているのかが知ることができ、とても興味深く、よい講義でした。Food sanitation は食品衛生についての講義です。HACCP や GMP など食品衛生に関することや、空間や音が与える食への影響について学ぶことができました。座学だけでなく、機内食を作る会社に訪問したり、プレゼン発表をしたりなどたくさんの経験ができました。Paradigm in Agricultural Extension はタイの農業推進や拡大についての講義です。発展段階にあるタイでしか学べないような内容でした。日本では学ぶことのできない講義でとてもためになった反面、自身の分野とかけ離れており、内容を理解するのに苦しみました。Selected topics in tropical agriculture はパソコンを使った講義で GPS などの基本的情報やデータベースの管理の仕方などを学びました。この講義も、自身の分野とかけ離れており難しかったです。どの講義も自身の知らないことばかりでとてもためになりました。どの講義を履修したらいいのか迷ったら、ぜひ参考にしてみてください。試験は中間試験と期末試験があり、中間試験は9月末、期末試験は12月末にあります。試験はすべて英語なのでテスト直前でなく、日頃から復習をしておくことをおすすめします。

### ○生活について

#### ～寮での生活～

私はインドネシア人とルームシェアをしました。インドネシア人はムスリムであることが多いのですがルームメイトはムスリムではなく、お祈りなどがなかったため、宗教による不便はなかったです。また会話は英語なので、英語力を磨くにはもってこいの環境でした。しかしながら、考えや文化が異なるのでやや苦労するところもありました。に朝のトイレとシャワーの時間やエアコンの使用などルールをしっかりと作ることをおすすめします。

#### ～食事～

食事は外食が基本でした。寮のすぐ前に屋台が並んでいたり、セブンがあたりするのでそれらを活用していました。屋台は慣れないうちは衛生面での抵抗がありましたが、慣れたら普通においしく、お持ち帰りをして寮の1階のフリースペースで食べていました。また、時間があるときには amonphan (通りの名前) に行くこともありました。amonphan にはおいしいお店が多く存在するのでおすすめです。

#### ～旅行～

講義の組み方次第で毎週連休をつくれたり、長期休みがあたりするので、ぜひ旅行に行くことをおすすめします。タイ国内は、カンチャナブリ、チェンライにいきました。広大な自然を感じることができ、とてもよかったです。国外はカンボジアに行き遺跡巡りをしました。長期間滞在しているかゆえに訪問できる場所も多く、せっかくの機会なので有効に活用したほうがいいと思います。とくに国外旅行は、日本から行くより安く済むのでおすすめです。

